

「日本観光振興デジタルプラットフォーム」構築事業

事業概要

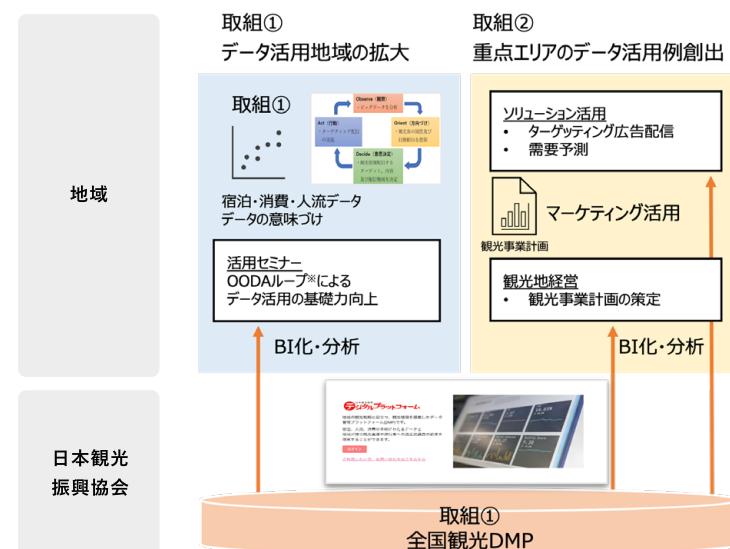
課題

データ基盤となるDMPの構築を行う地域は増えているが、導入費・運用費等の課題があり、全国的な活用までに至っていない。

取組

観光地経営の高度化を目的に、地域が共通で利用できる「全国観光DMP」「高度化地域DMP」を構築し、データの活用を推進した。観光事業者・自治体・DMO等が「日本観光振興デジタルプラットフォーム」、「観光情報データ」をターゲット戦略や施策立案、マーケティング施策等に活用し、効率的かつ戦略的な事業推進を行った。

実証事業における取組イメージ



目標と成果

目標

全国観光DMP・高度化地域DMPを用いた実証事業の成功事例を創出することで、観光事業計画やマーケティング戦略・施策等を計画する際に、DMPを活用する地域を増やす。

成果

全国観光DMP・高度化地域DMPの利用によりデータを活用した観光事業計画/マーケティング戦略を行う自治体を増やした。

取組①全国観光DMP・高度化地域DMPの構築・活用

地域が共通でデータを利用できる「全国観光DMP」とそのデータ可視化・分析するBI機能を持つ「高度化地域DMP」を構築。また、データの活用推進を目的としたセミナーを計3回実施した。

取組②全国観光DMP・高度化地域DMPを活用した実証事業の実施

全国観光DMP・高度化地域DMPを活用したデータ戦略・先進モデル構築をする実証事業を4つの都道府県で実施し、成功事例を創出。OODAループを活用し、来年度施策の仮説を提案することで、観光振興計画の策定まで実施した。

※OODAループ：Observe(観察)、Orient(情報判断)、Decide(意思決定)、Act(行動)を実践するDMP活用モデル

項目	目標項目	目標値	実績
KGI 取組① 全国観光DMP・高度化地域DMP/基本機能の構築・活用	自治体数	76自治体 (2都道府県74市町村)	50自治体 (14都道府県36市町村)
KPI 取組② 全国観光DMP・高度化地域DMP/基本機能による地域と連携した実証事業	活用セミナー開催数	3回	3回
	成功事例	4件	群馬県 埼玉県 千葉県 長野県

コンソーシアム名:日本観光振興デジタルプラットフォーム推進コンソーシアム(代表:公益社団法人日本観光振興協会)